

横浜市立平安小学校



平安

令和2年6月30日

学校だより

7月号

あったかハートで Hey! 安心!!

平常の、そして「新しい生活様式」の学校生活となります

学校長 久城 博之

暦の上では夏ですが、あと少し梅雨の季節が続きそうです。平安町会長の河西様、地域の皆様にご指導いただいた4年生のゴーヤや5年生のお米の苗が日一日と成長しています。6組さんのトウモロコシやミニトマト、キュウリなどの野菜も実がなりだしました。

さて、緊急事態宣言の全面解除に伴って、6月1日から始まった学校ですが、前半の2グループに分けての部分登校、そして後半の午前授業による一斉登校の期間も無事に終わり、7月1日から普段通りではありますが「新しい生活様式」での教育活動を始めることとなります。

その中の一つが、何よりも子どもたちが心待ちにしている、給食の時間です。6年生にとっては小学校生活最後の、そして1年生にとっては初めての給食となります。普段でしたらクラスの中でグループにして、笑顔でおしゃべりをしながら楽しく食べているのですが、残念ながら今年度はしばらくの間はそうはいきません。給食時間における密や、配膳の仕方等における感染予防のために、様々な対応を取ることとなります。例えば、食べる時には机を向かい合わせにはしない。器具を複数の人が使用しない。会話は控え、静かに食べる。などです。片づけ方も、今までとは違います。食器はグループで集めない。牛乳パックも特別なゴミとして集めます。まだいくつか気を付けなくてはならないことはありますが、生産者の方々や調理をしてくださった方々に感謝しながら、おいしく食べてくれたらと願っています。

ところで、先日、新聞を読んでいたらある記事に目がとまりました。それは、オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」に対応するために、消費者庁が全国の消費生活センターの窓口機能を強化し、当事者や家族からの相談を医療機関や民間支援団体に確実につなぐ仕組みを、本年度中に整備する方針を固めたというものでした。ゲーム人口は増加し、最近では新型コロナウイルス感染症による外出自粛や休校の影響もあり、未成年者を中心にゲーム依存の深刻化が懸念されています。高額な課金に関する内容や「子どもがゲームをやめられない」など依存症が疑われるものも多いそうです。また、オンラインゲームにはメッセージをやり取りできる機能があり、悪用されて事件化するケースもあるそうです。まだまだ日本ではゲーム依存脱却を支援する団体は少ないそうですので、学校でもしっかりと節度の大切さを折に触れて伝えていきたいと考えています。何かありましたら、まずは担任を通してご相談ください。